



【本号のトピックス】

第26回学術大会のご案内／委員会だより(摂食嚥下リハビリ委員会)／
山根理事が日本歯科医学会会長賞受賞／支部活動だより ほか

日本老年歯科医学会第26回学術大会のご案内

新企画 Meet the professor のお知らせ

平野浩彦

第26回大会準備委員長

東京都長寿医療研究センター

高齢者人口比率が25%を超え、その多くが後期高齢者である現代社会を歯科の立場から今一度見直そうと考え、今回のメインテーマに「超高齢社会の歯科を再考する」を掲げさせていただきました。また、副題として羽村 章大会長の提案により「食べる・老いる・生きる」を挙げ、老いてもなおよく生きるために食べることを強調しました。そこで特別講演では、食にこだわりがあり、多くの生きざまを描いている小説家の北方謙三先生をお迎えして、「食べる・老いる・生きる」をテーマにお話しいただく予定です。

今回の大会は、2年ごとに開催される日本老年学会総会と合同開催となり、こちらのテーマは「良質な超高齢社会を拓く一学際的研究の進展と深化」であり、そのコンセプトに沿い、多数の合同シンポジウムが開催されます。合同シンポジウムは、日本老年学会を構成する、日本老年医学会、日本老年社会学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会の7学会により行われます。その詳細は本学会誌、学会ホームページをご参照いただきたいのですが、日本の老年学研究者が一堂に揃い、聴き応えのあるディスカッションが行われることが期待されます。本学会に参加登録された方々は、これらの合同シンポジウムだけでなく、同時開催される各学会にも参加出来る特典が日本老年学会総会にはありますので、是非とも多くの学会に参加していただき、様々な情報を得ていただければと思います。

本学会ではいくつかの新企画を計画しました。その一つに Meet the professor があります。この企画の



趣旨は、新たに老年歯科学を志す会員の皆様に、高齢者歯科医療に精通されている先生方から身近にアドバイスを受けていただく機会を設けることです。研修医、若手の先生方、さらには地域歯科医療で新たに高齢者歯科医療を志しておられる先生方を想定させていただきました。以下の開催要領をご参考にしていただき、ご参加いただければ幸いです。

6月13日(土) 会場：展示ホール B

9:00～10:20 Meet the professor 1

「高齢患者への処置の勘どころ」

演者：山根源之先生(東京歯科大学名誉教授)

10:30～11:50 Meet the professor 2

「総義歯治療の勘どころ」

演者：早川 巖先生(東京医科歯科大学名誉教授)

Meet the professor は事前申し込みが必要となります。申し込み方法につきましては、大会ホームページをご確認ください。

現在、羽村大会長の下、大会準備を鋭意進めております。多くの方々の参加、討議への参加を期待しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

委員会だより

摂食嚥下リハビリテーション委員会

委員長 植田耕一郎
委員 高橋浩二（副委員長）、飯田良平
石田 瞭、田村文誉、野原幹司
三串伸哉、吉田光由
幹事 戸原 玄

本委員会の目的は、摂食嚥下関連問題に関わる業務を推進するために、国民の健康へ果たす役割に関する科学的根拠を収集、蓄積し、これを我が国の歯科医療制度および政策へ反映させるために提言を行うことです。学術大会では摂食嚥下機能評価のハンズオンセミナーを開催しています。第20回学術大会より始まり、今年も第6回目が予定されています（下記参照）。概論に始まり、スクリーニングテスト、嚥下内視鏡検査（VE）による評価の実習までを行っており、毎回数日で申し込み定員を満了セミナーです。

また、平成26年度の医科の診療報酬において、胃瘻増設前の嚥下機能評価の実施等の推進を図るための改訂がなされました。このような医療制度の変革も鑑みて、歯科系学会においても高齢者に必要とされる歯科医療を提供するための、摂食嚥下リハビリテーションに関する専門的な知識と技術を有する歯科医師養成のシステムの必要性が議論された結果、「摂食機能療法専門歯科医師制度」を提案し、理事会の承認を経てスタートすることとなりました。本学会の認定医を有する者が対象であり、また認定までには多くの研修期間を必要とする敷居の高い資格ですが、少子超高齢社会においてもますます重要とされる摂食嚥下リハビリテーションであり、多職種連携の輪をリーダーシップをもって牽引できる歯科医師の育成がなされることと期待しています。

ハンズオンセミナーのこれまで

第1回 2009年6月20日（土）14:00～16:30
第20回 学術大会
パシフィコ横浜 317 小会議室
参加者：20名
第2回 2010年6月25日（金）14:00～16:00
第21回 学術大会
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 307 会議室
参加者：18名

第3回 2011年6月18日（土）10:00～15:00

第22回学術大会の翌日に実施

日本歯科大学附属病院 第1会議室

参加者：14名

第4回 2012年6月22日（金）13:00～17:00

第23回学術大会

つくば国際会議場 中会議室 201

参加者：22名

第5回 2014年6月14日（金）10:00～15:00

第25回学術大会

福岡電気ビル みらいホール3F 会議室

参加者：20名

第26回学術大会時もハンズオンセミナー（定員制）を開催します。詳細は決まり次第、学会 HP へ掲載いたします。

摂食機能療法専門歯科医師セミナー報告

2月11日、鶴見大学会館にて初めての摂食機能療法専門歯科医師指定研修が53名の参加を得て開催されました。次回開催については学会 HP で案内いたします。



櫻井理事長の挨拶



講義風景（講師：植田委員長）

山根源之理事が日本歯科医学会会長賞を受賞

山根源之理事（前理事長）が、歯科医学・医術の研究に成果を収め、歯科医学・医療の向上に特に顕著な貢献があったと認められる者を顕彰する「平成 26 年度日本歯科医学会会長賞」を受賞され、2 月 23 日、日本歯科医学会よりプラーク（表彰楯）とメダルを贈られました。おめでとうございます。

住友日本歯科医学会会長
とともに授賞式にて



支部活動だより

長野支部主催セミナー報告

長野支部は、2 月 28 日(土)松本歯科大学にて、「要介護高齢者への食事介助!」と題しセミナー（講演と実習）を開催しました。歯科医師、歯科衛生士だけでなく、多職種の方が参加し、合計 86 名の参加が得られました。参加者には、基礎知識、疾患の特徴と基礎知識、食事介助の注意点、窒息時の対応実習など、座学と実習で丸 1 日楽しんでいただきました。食事介助の相互実習においては、正しい介助と誤った介助を自ら実施する形式で食事介助の基本を体験してもらい、講演後のアンケートでも良かったと回答した人が 87%となり、参考になる内容が満載でした。同じ内容で回数を多く実施してほしいという感想もあり、多くの方から好評をいただき、有意義なセミナーとなりました。

(小笠原 正)



第 14 回北海道口腔ケアセミナー

日 時：平成 27 年 5 月 9 日(土)12:00～16:40

場 所：北海道自治労会館

主 催：北海道口腔ケア研究会、本会 北海道支部

申込み〆切：5 月 7 日(木)、定員 300 名

受講料：3,000 円

内 容

特別講演「時代の要請としての多職種連携の展開」

米山武義（米山歯科クリニック）

教育講演1「口から食べることのお手伝い—義歯の製作方法とケア方法について」

西川圭吾（北海道大学病院歯科診療センター）

「訪問診療の実際」

教育講演2「老健施設での口腔ケアの取り組み」

山下美智子（介護老人保健施設プラットホーム）

単 位：本会認定研修 2 単位

お問合せ：

(株) エムコム

札幌市北区北 11 条西 4 丁目

TEL：011-728-6188 FAX：011-728-6151

第 7 回富山県歯科医師会高齢者歯科医学セミナー(富山支部共催)

日 時：平成 27 年 6 月 21 日(日)9:30～12:00

会 場：富山県歯科医師会(富山)

内 容

「高齢者の口腔機能管理と栄養管理（栄養ケアマネジメント）」

菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）

単 位：本会認定研修 1 単位

お問合せ：一般社団法人 富山県歯科医師会

富山市五福 2741-2

TEL 076-432-4466 FAX 076-442-4013

Gerodontology誌が 本会公式英文誌になりました！

本会と Wiley Blackwell 社、The Gerodontology Association の 3 者の合意により、老年歯科医学の国際ジャーナルである Gerodontology 誌が日本老年歯科医学会の公式英文誌となりました。これにより本学会会員は会員価格で同誌をオンライン購読できるようになります。詳細は学会誌・学会ホームページをご参照ください。

この機会に会員の皆様には、世界の高齢者歯科の潮流を実感していただくとともに、積極的に論文投稿にチャレンジしていただければ幸いです。（国際渉外委員会）

第2回 歯科衛生士関連委員会主催セミナー への参加をお待ちしております

【歯科衛生研究の進め方 PART I】

詳細は、学会ホームページにてご確認ください。

■日 時：平成 27 年 6 月 14 日(日)8:30~11:30

■会 場：パシフィコ横浜 E-204

■対 象：歯科衛生士（定員30名）

■参加費：3,000 円(事前振込)

■内 容：

I. 講義「歯科衛生研究の必要性和研究の進め方」

講師：福島 正義先生

II. グループワーク「研究計画の立て方と研究計画書の書き方」講師：福島 正義先生

III. 認定歯科衛生士(老年歯科)更新に向けて

※本セミナーと歯科衛生士シンポジウムは、日本歯科衛生士会認定更新生涯研修です。

（歯科衛生士関連委員会）

専門医合格者の紹介

可知直剛(医療法人昌栄会 相武台病院(神奈川県))

赤松那保(鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座)

河越邦子(日本大学歯学部附属歯科病院総合診療部)

久松徳子(長崎大学病院特殊歯科総合診療部)

西山留美子(慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室)

中川量晴(藤田保健衛生大学医学部歯科)

小林健一郎(こばやし歯科クリニック(東京))

(2014 年 12 月 11 日付)

認定制度 研修単位管理システムを ご活用ください。

本年 4 月 1 日より、バーコードリーダーで読み取った出席履歴をオンライン上で確認し、研修単位取得証明書としてプリントアウトすることが可能になりました。詳細は、学会ホームページにてご案内しております。

↓ここをクリック



速報：池邊一典先生が IADR で 受賞されました

3 月 11 日の IADR 総会(ボストン)にて、池邊一典先生(阪大、本学会代議員)が Distinguished Scientist Award for Geriatric Oral Research を受賞されました。本部門では日本人として二人目の快挙です。おめでとうございます。



安孫子 IADR 会長(左)とともに授賞式にて

編集後記

News Letter No.19をお届けいたします。トップに第26回学術大会のご案内をさせていただきました。蛇足ながら事前参加登録は4月30日までですので、ご留意いただければ幸いです。

また、山根源之先生(前理事長)が日本歯科医学会会長賞を受賞されたのに続き、池邊一典先生(代議員)が IADR 総会で受賞され、本号では慶事をダブルでご報告させていただきました。山根先生、池邊先生おめでとうございます。

会員の皆様から News Letter での会員への情報提供、またご意見などございましたらホームページ・お問い合わせより広報・

研修委員会宛にお寄せくださいますようお願い申し上げます。（幹事 伊藤誠康）

発行人 櫻井 薫

編集 日本老年歯科医学会広報・研修委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込TSビル (一財)口腔保健協会内

電話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341